

L R Tの整備効果項目の整理について

1 「芳賀・宇都宮L R T」において期待される整備効果項目の検討について

L R Tの整備効果については、所要時間の短縮や交通費用の減少など、貨幣換算可能な効果のほか、沿線地域の活性化や定住人口の増加、地域における雇用の促進など、貨幣換算が困難である様々なまちづくりなどの効果が期待されることから、現在、整備効果項目の検討等に取り組んでいるところである。

※ L R Tの整備効果に係る検討手順については[参考資料1](#)参照

2 L R Tの整備効果項目の整理について ([別紙1](#)参照)

- ・ L R Tの整備効果の整理にあたって、以下の3つの視点から、「芳賀・宇都宮L R T」において期待される整備効果の項目を抽出した。
- ・ 整備効果の項目については、国のマニュアル等を参考に、効果の特徴やターゲットなどを明確にするため、効果が発現する対象を「L R T利用者」と「社会全体」に分類したうえで、「社会全体」については、宇都宮市や芳賀町のまちづくりの指針となる「総合計画」等におけるそれぞれの政策分野などを総合的に勘案し、「住民生活」、「地域経済」、「地域社会」、「環境」、「安全」の5つの分野に分類し一覧化した。

※ 宇都宮市の「第6次宇都宮市総合計画」及び芳賀町の「第6次芳賀町振興計画」それぞれの政策分野との関連性についても整理

(「第6次宇都宮市総合計画」・「第6次芳賀町振興計画」の概要は[参考資料2](#)参照)

※ 併せて、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である「SDG s」の17のゴールとの関連性についても整理 (「SDG s」の概要については[参考資料3](#)参照)

⇒ 今回、L R Tの整備効果について、一定の整理を行ったものの、現時点では想定しえない様々な分野に波及していくことも考えられるため、検討状況等に応じ、適宜、項目の追加等を行っていきたいと考えている。

○ 整備効果の抽出における3つの視点 ([別紙2](#)参照)

1 宇都宮市・芳賀町の「まちの姿の変化」の視点

宇都宮市においては「第6次宇都宮市総合計画」、芳賀町においては「第6次芳賀町振興計画」等に基づき、目指すべき「まちの姿」の実現に向け、まちづくりを進めているところであり、L R Tの整備により、様々なまちづくりなどの効果が見込まれることから、宇都宮市及び芳賀町において「まちの姿の変化」が現れると考えられる効果項目を抽出

2 宇都宮市民・芳賀町民の「生活の変化」の視点

L R Tの整備により、移動手段の選択肢が増え、時間の使い方が変化するなど、市民・町民の生活がより豊かなものになっていくことが考えられることから、市民・町民の「生活の変化」が現れると考えられる効果項目を抽出

3 既往の検討事例や先進事例等の視点

国のマニュアルに示されている鉄道等の整備により期待される効果項目に加え、「富山市 (富山ライトレール)」や「沖縄県 (ゆいレール)」における実例を参考に、宇都宮市及び芳賀町において発現が期待される効果項目を抽出

「芳賀・宇都宮 L R T」において期待される整備効果項目 ※ 下線は第30回検討委員会から追加・変更した項目

大分類	項目	期待される効果	抽出における視点			市・町計画における分野		【参考】
			まちの変化	生活の変化	先進事例等	市	町	S D G s のゴール
L R T 利用者	①目的地への移動に要する時間の短縮	自動車から L R T への利用転換により、目的地への移動に要する時間が短縮される		○	○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		自動車から速達性・定時性の高い L R T への利用転換により、交通渋滞等に左右されず、移動に要する時間が短縮することが見込まれるため						
	②目的地への移動に要する交通費用の減少	自動車から L R T への利用転換により、目的地への移動に要する交通費用が減少する		○	○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		自動車から L R T への利用転換により、ガソリン代などの目的地への移動に要する交通費用が減少することが見込まれるため						
	③通学環境の満足度の向上	速達性・定時性の確保などにより、通学時の快適性や安心感が向上する		○		子育て教育	教育文化	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		L R T の速達性・定時性の確保や、早朝から深夜までの運行など充実した運行サービスによる通学範囲の広がりなどにより、通学環境の満足度の向上が考えられるため						
	④通勤環境の満足度の向上	速達性・定時性の確保などにより、通勤時の快適性や安心感が向上する		○		産業環境	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		L R T の速達性・定時性の確保や、深夜までの運行による中心市街地等での滞在可能時間の増加など、通勤環境の満足度の向上が考えられるため						
住民生活 A	①外出機会の増加	誰もが快適に移動できるようになり、市民・町民の外出機会が増加する		○	○	健康福祉医療	保健医療福祉	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		L R T の整備により、誰もが快適に移動できるようになり、高齢者などの外出機会が増えることが考えられるため						
	②歩く機会の増加	自動車に頼らず移動できるようになり、市民・町民の歩く機会が増加する		○	○	健康福祉医療	保健医療福祉	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		L R T の整備により、自動車に頼らず移動できるようになり、歩く機会が増え、健康が増進されることが考えられるため						
	③交流機会の増加	各拠点間のアクセス性の向上により、市民・町民の交流機会が増加する		○	○	魅力交流文化	地域コミュニティ 自然環境 安全安心	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		L R T の整備により、各拠点間のアクセス性が向上し、市民・町民の交流が活発化するなど、交流機会の増加が考えられるため						
	④公共交通全体の利便性の向上	L R T を基軸とした階層性のある公共交通ネットワークが構築されることにより、公共交通全体の利便性が向上する	○	○	○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		L R T を基軸とした、バスや地域内交通等が相互に連携した階層性のある公共交通ネットワークが構築されることにより、公共交通全体の利便性が向上することが考えられるため						
	⑤目的地への移動に要する時間の短縮（自動車利用）	交通渋滞等が緩和され、自動車利用者の目的地への移動に要する時間が短縮される		○	○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		自動車から L R T への利用転換が進み、交通渋滞等が緩和され、自動車利用者の移動に要する時間が短縮することが見込まれるため						
社会全体	⑥目的地への移動に要する交通費用の減少（自動車利用）	交通渋滞等が緩和され、自動車利用者の目的地への移動に要する交通費用が減少する		○	○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		自動車から L R T への利用転換が進み、交通渋滞等が緩和され、燃費の向上やタイヤ摩耗等の節減など、自動車利用者の交通費用が減少することが見込まれるため						
	⑦送迎負担の軽減	L R T の充実した運行サービスによる通学可能範囲の広がりなどにより、家族等の送迎負担の軽減が図られる		○		子育て教育 健康福祉医療	教育文化 保健医療福祉	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		早朝から深夜までの運行など、L R T の充実した運行サービスにより通学可能範囲が広がることや、乗り降りのしやすい L R T を使って高齢者等がひとりで通院できるようになることなどにより、家族等の送迎負担の軽減が図られることが考えられるため						
	⑧通勤環境の満足度の向上（自動車利用）	交通渋滞等が緩和され、自動車を用いて通勤する従業者等の通勤時の快適性や安心感が向上する		○		産業環境	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		自動車から L R T への利用転換が進み、交通渋滞等が緩和され、自動車を用いて通勤する従業者等の通勤環境の満足度の向上が考えられるため						
地域経済 B	①産業活動の活発化	産業地としての魅力が向上し、産業活動が活発化する	○		○	産業環境	産業経済	目標⑨ 産業と技術革新
		L R T 整備による通勤利便性や物流効率性の向上などにより、産業地としての魅力やポテンシャルが向上し、設備投資の増加など、産業活動が活発化することが考えられるため						
	②事業所数の増加	L R T 沿線の工業地の整備が促進され、事業所数が増加する	○		○	産業環境	産業経済	目標⑨ 産業と技術革新
		L R T 整備による通勤利便性や物流効率性の向上などにより、産業地としての魅力やポテンシャルが向上し、L R T 沿線の工業地の整備が促進され、L R T 沿線の事業所数が増加することが考えられるため						
	③従業者数の増加	通勤利便性の向上や L R T 沿線の事業所数の増加等により、従業者数が増加する	○		○	産業環境	産業経済	目標⑨ 産業と技術革新
		L R T 整備による通勤利便性の向上や沿線の事業所数の増加等により、L R T 沿線の従業者数が増加することが考えられるため						
	④中心市街地の活性化	中心市街地へのアクセス性が向上し、中心市街地が活性化する	○	○	○	魅力交流文化	産業経済	目標⑧ 働きがいと経済成長
		L R T の整備により、中心市街地へのアクセス性が向上し、飲食消費額や回遊機会、滞在時間が増加するなど、中心市街地が活性化することが考えられるため						
	⑤地域の活性化	L R T 沿線の各拠点間のアクセス性が向上し、地域が活性化する	○	○	○	魅力交流文化	産業経済	目標⑧ 働きがいと経済成長
	L R T の整備により、L R T 沿線の拠点間のアクセス性が向上し、飲食消費額や回遊機会、滞在時間が増加するなど、地域が活性化することが考えられるため							
	⑥観光客数の増加	地域の知名度が向上することにより、観光客数が増加する	○		○	魅力交流文化	産業経済	目標⑧ 働きがいと経済成長
		L R T の整備により、地域の知名度が向上し、観光客数が増加することが考えられるため						

大分類	分野	項目	期待される効果	抽出における視点			市・町計画における分野		【参考】 SDGsのゴール
				まちの変化	生活の変化	先進事例等	市	町	
地域社会C	①定住人口の増加	LRT沿線の宅地開発等が進み、定住人口が増加する		○		○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		LRTの整備により、沿線の宅地開発等が進み、LRT沿線の定住人口が増加することが考えられるため							
	②地価の上昇	LRTが住宅地等の地価形成要因となり、地価が上昇する		○		○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		LRTが住宅地等の地価形成要因となり、LRT沿線の地価が上昇することが考えられるため							
	③高層建築物の建築数の増加	土地利用の高度化が図られ、高層建築物の建築数が増加する		○		○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		LRT整備により沿線開発が活発化し、土地利用の高度化が図られ、LRT沿線の高層建築物の建築数が増加することが考えられるため							
	④住宅の新規着工数の増加	住宅地としての魅力が向上し、住宅の新規着工数が増加する		○		○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		LRT整備により沿線開発が活発化し、住宅地としての魅力が向上することに伴い、LRT沿線の住宅の新規着工数が増加することが考えられるため							
	⑤都市機能誘導施設の増加	LRT沿線の地域拠点等における都市機能誘導施設が増加する		○			都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		「NCC」の形成に向けた地域拠点等への都市機能の集積や、LRTを基軸とした階層性のある公共交通ネットワークの構築により、LRT沿線の地域拠点等における都市機能誘導施設が増加することが考えられるため							
	⑥空き家・空き地の減少	LRT沿線の低未利用地の利用促進などが図られ、空き家・空き地が減少する		○			都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		LRT整備により沿線開発が活発化し、低未利用地の利用促進などが図られ、LRT沿線の空き家・空き地が減少することが考えられるため							
⑦景観の向上	景観に配慮した建物への更新などが進み、LRT沿線の景観が向上する		○		○	都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり	
	LRT整備により沿線開発が活発化し、景観に配慮した建物への更新などが進み、LRT沿線の景観が向上することが考えられるため								
⑧地域のイメージアップ	LRTが地域のシンボルとなり、地域のイメージアップに繋がる			○	○	都市空間交通	産業経済	目標⑩ 住み続けられるまちづくり	
	LRTが地域のシンボルとなり、地域のイメージや知名度が向上するとともに、市民・町民が誇らしさを感じる事が考えられるため								
⑨税収の増加	LRT沿線の人口増加や産業活動の活発化等に伴い、税収が増加する		○			都市空間交通	都市基盤	目標⑩ 住み続けられるまちづくり	
	LRTの整備による、沿線の人口増加や産業活動の活発化等に伴い、市町民税、固定資産税等の税収が増加することが考えられるため								
環境D	①自動車の道路交通量の減少	自動車からLRTへの利用転換により、自動車の道路交通量が減少する		○		○	産業環境	地域コミュニティ 自然環境 安全安心	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		LRT整備による自動車からLRTへの利用転換により、自動車の道路交通量が減少し、交通渋滞等が緩和されることが考えられるため							
	②温室効果ガス等の排出量の削減	自動車の道路交通量が減少し、自動車が排出する温室効果ガス等が削減される		○		○	産業環境	地域コミュニティ 自然環境 安全安心	目標⑩ 住み続けられるまちづくり
		LRT整備により自動車の道路交通量が減少し、自動車が排出する温室効果ガス等が削減され、地球温暖化への負荷の軽減や、地域の環境改善が見込まれるため							
③道路騒音の改善	自動車の道路交通量が減少し、道路騒音が改善される		○	○	○	産業環境	地域コミュニティ 自然環境 安全安心	目標⑩ 住み続けられるまちづくり	
	LRT整備により自動車の道路交通量が減少し、道路騒音が改善されることが見込まれるため								
④道路振動の抑制	自動車の道路交通量が減少し、道路振動が抑制される		○	○		産業環境	地域コミュニティ 自然環境 安全安心	目標⑩ 住み続けられるまちづくり	
	LRT整備により自動車の道路交通量が減少し、道路振動が抑制されることが考えられるため								
安全E	①道路交通事故の減少	自動車からLRTへの利用転換により、道路交通事故が減少する		○	○	○	安心協働共生	地域コミュニティ 自然環境 安全安心	目標③ 健康と福祉
		LRT整備による自動車からLRTへの利用転換により、道路交通事故が減少することが見込まれるため							
	②免許返納数の増加	自動車を使わなくても移動できる範囲が広がり、自動車免許の返納数が増加する			○		安心協働共生	地域コミュニティ 自然環境 安全安心	目標③ 健康と福祉
		LRTを基軸とした、バスや地域内交通等が相互に連携した階層性のある公共交通ネットワークが構築されることにより、自動車を使わなくても移動できる範囲が広がり、高齢者等の自動車免許の返納数が増加することが考えられるため							
③災害時の安心感の向上	災害時の移動手段の選択肢が増えることなどにより、安心感が向上する			○		安心協働共生	地域コミュニティ 自然環境 安全安心	目標③ 健康と福祉	
	LRTの整備により、災害時の移動手段の選択肢が増えるなど、災害時の安心感が向上することが考えられるため								

※ LRTの整備効果については、現時点では想定しえない様々な分野に波及していくことも考えられるため、検討状況等に応じ、適宜、項目の追加を行っていく。

※ 「鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル（2012年改訂版）」においては、運行事業者に対する「供給者への効果・影響」も示されているが、今回検討を行っている「まちづくり」などの効果としてなじまないことから除外

3つの視点による整備効果の抽出の考え方

1 宇都宮市・芳賀町の「まちの姿の変化」の視点

宇都宮市においては「第6次宇都宮市総合計画」、芳賀町においては「第6次芳賀町振興計画」等に基づき、目指すべき「まちの姿」の実現に向け、まちづくりを進めているところであり、LRTの整備により、様々なまちづくりなどの効果が見込まれることから、宇都宮市及び芳賀町において「まちの姿の変化」が現れると考えられる効果項目を抽出

○ 宇都宮市及び芳賀町が目指すまちの姿（市及び町の「総合計画」等を参考）

【宇都宮市が目指すまちの姿】

人口減少、少子・超高齢化社会が進行する中であっても、将来にわたって持続的に発展できるまちを実現するため、中心市街地やそれぞれの拠点にまちの機能を集約し、それらを利便性の高い公共交通などで連携させた「ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）」の形成を目指す。

【芳賀町が目指すまちの姿】

人口減少や少子高齢化の進行に直面する中、人口減少に歯止めをかけるため、LRT等の公共交通機関の充実や、住宅地の整備を行い宅地の供給を図るほか、豊かな自然環境や農業等の資源を有効活用した地域ブランド力向上による新たな魅力を創出し、芳賀町に住みたい、住んでみたいと選ばれる魅力あるまちづくりを推進し、新たな人の流れをつくる。

⇒ 宇都宮市及び芳賀町が目指すべき「まちの姿」の実現に向け、LRTの整備に併せ、様々な施策を展開しながらまちづくりを進めることにより、LRT沿線の地域拠点等への都市機能の集約化や、階層性のある公共交通ネットワークの構築による公共交通の利便性の向上など、様々なまちづくりなどの効果の発現が考えられる。

〔宇都宮市・芳賀町の「まちの姿の変化」の視点から発現が期待される効果項目〕

【社会全体】※ 下線は第30回検討委員会から追加・変更した項目（以下同）

住民生活 A	地域経済 B	地域社会 C	環境 D	安全 E
<u>④公共交通全体の利便性の向上</u>	①産業活動の活発化	①定住人口の増加	<u>①自動車の道路交通量の減少</u>	①道路交通事故の減少
	②事業所数の増加	②地価の上昇	②温室効果ガス等の排出量の削減	
	③従業者数の増加	③高層建築物の建築数の増加	③道路騒音の改善	
	<u>④中心市街地の活性化</u>	<u>④住宅の新規着工数の増加</u>	<u>④道路振動の抑制</u>	
	⑤地域の活性化	<u>⑤都市機能誘導施設の増加</u>		
	⑥観光客数の増加	<u>⑥空き家・空き地の減少</u>		
		<u>⑦景観の向上</u>		
		⑨税収の増加		

2 宇都宮市民・芳賀町民の「生活の変化」の視点

LRTの整備により、移動手段の選択肢が増え、時間の使い方が変化するなど、市民・町民の生活がより豊かなものになっていくことが考えられることから、市民・町民の「生活の変化」が現れると考えられる効果項目を抽出

○ LRTの整備による市民・町民の生活の変化（例）

- ・ 通勤・通学時の交通手段が、自動車から速達性・定時性の高いLRTに変化する。
⇒ 通勤・通学時の快適性や安心感が向上する。
- ・ 乗り降りのしやすいLRTを使って、高齢者等が積極的に外出する。
⇒ 高齢者等の生きがいがづくりや、歩く機会が増えることによる健康増進に繋がる。
- ・ LRTの充実した運行サービスにより、中心市街地等での滞在時間が長くなる。
⇒ 飲食消費額や回遊機会などが増加し、中心市街地等が活性化する。

⇒ 乗り降りが容易で、充実した運行サービスを確保し、時間通りに移動することができる「速達性・定時性」の高いLRTの整備により、通勤・通学時の満足度の向上や外出機会の増加、飲食等での滞在時間の増加等に伴う中心市街地や地域の活性化など、市民・町民の生活がより豊かなものになる効果の発現が考えられる。

〔宇都宮市民・芳賀町民の「生活の変化」の視点から発現が期待される効果項目〕

【LRT利用者】

- ①目的地への移動に要する時間の短縮 ②目的地への移動に要する交通費用の減少
③通学環境の満足度の向上 ④通勤環境の満足度の向上

【社会全体】

住民生活 A	地域経済 B	地域社会 C	環境 D	安全 E
①外出機会の増加	④ <u>中心市街地の活性化</u>	⑧地域のイメージアップ	③道路騒音の改善	①道路交通事故の減少
②歩く機会の増加	⑤地域の活性化		④ <u>道路振動の抑制</u>	② <u>免許返納数の増加</u>
③ <u>交流機会の増加</u>				③ <u>災害時の安心感の向上</u>
④ <u>公共交通全体の利便性の向上</u>				
⑤ <u>目的地への移動に要する時間の短縮</u> (自動車利用)				
⑥ <u>目的地への移動に要する交通費用の減少</u> (自動車利用)				
⑦送迎負担の軽減				
⑧ <u>通勤環境の満足度の向上</u> (自動車利用)				

3 既往の検討事例や先進事例等の視点

国のマニュアルに示されている鉄道等の整備により期待される効果項目に加え、「富山市（富山ライトレール）」や「沖縄県（ゆいレール）」における事例を参考に、宇都宮市及び芳賀町において発現が期待される効果項目を抽出

⇒ 既に算出済の所要時間短縮や交通費用の減少などの効果に加え、宇都宮市及び芳賀町においても既に沿線の動向の変化が見られる定住人口の増加や地価の上昇のほか、さらには地域の知名度の向上などによる観光客数の増加や地域のイメージアップなど様々な効果の発現が考えられる。

〔既往の検討事例や先進事例等の視点から発現が期待される効果項目〕

【LRT利用者】

①目的地への移動に要する時間の短縮 ②目的地への移動に要する交通費用の減少

【社会全体】

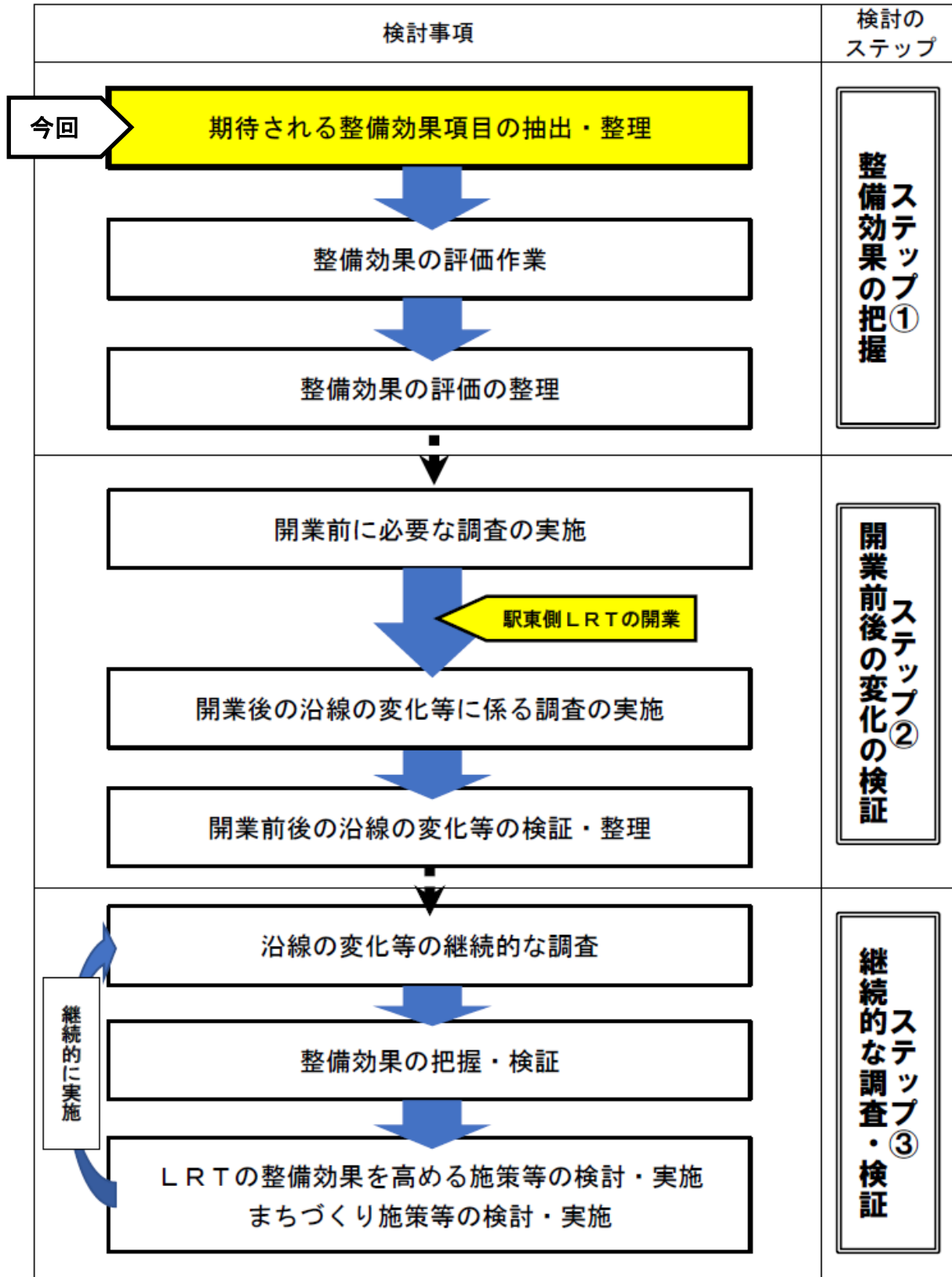
住民生活 A	地域経済 B	地域社会 C	環境 D	安全 E
①外出機会の増加	①産業活動の活発化	①定住人口の増加	①自動車の道路交通量の減少	①道路交通事故の減少
②歩く機会の増加	②事業所数の増加	②地価の上昇	②温室効果ガス等の排出量の削減	
③交流機会の増加	③従業者数の増加	③高層建築物の建築数の増加	③道路騒音の改善	
④公共交通全体の利便性の向上	④中心市街地の活性化	④住宅の新規着工数の増加		
⑤目的地への移動に要する時間の短縮 (自動車利用)	⑤地域の活性化	⑦景観の向上		
⑥目的地への移動に要する交通費用の減少 (自動車利用)	⑥観光客数の増加	⑧地域のイメージアップ		

※ 国のマニュアルに示されている効果や、他都市の先進事例において発現が確認されている効果については参考資料4参照

LRTの整備効果に係る検討手順

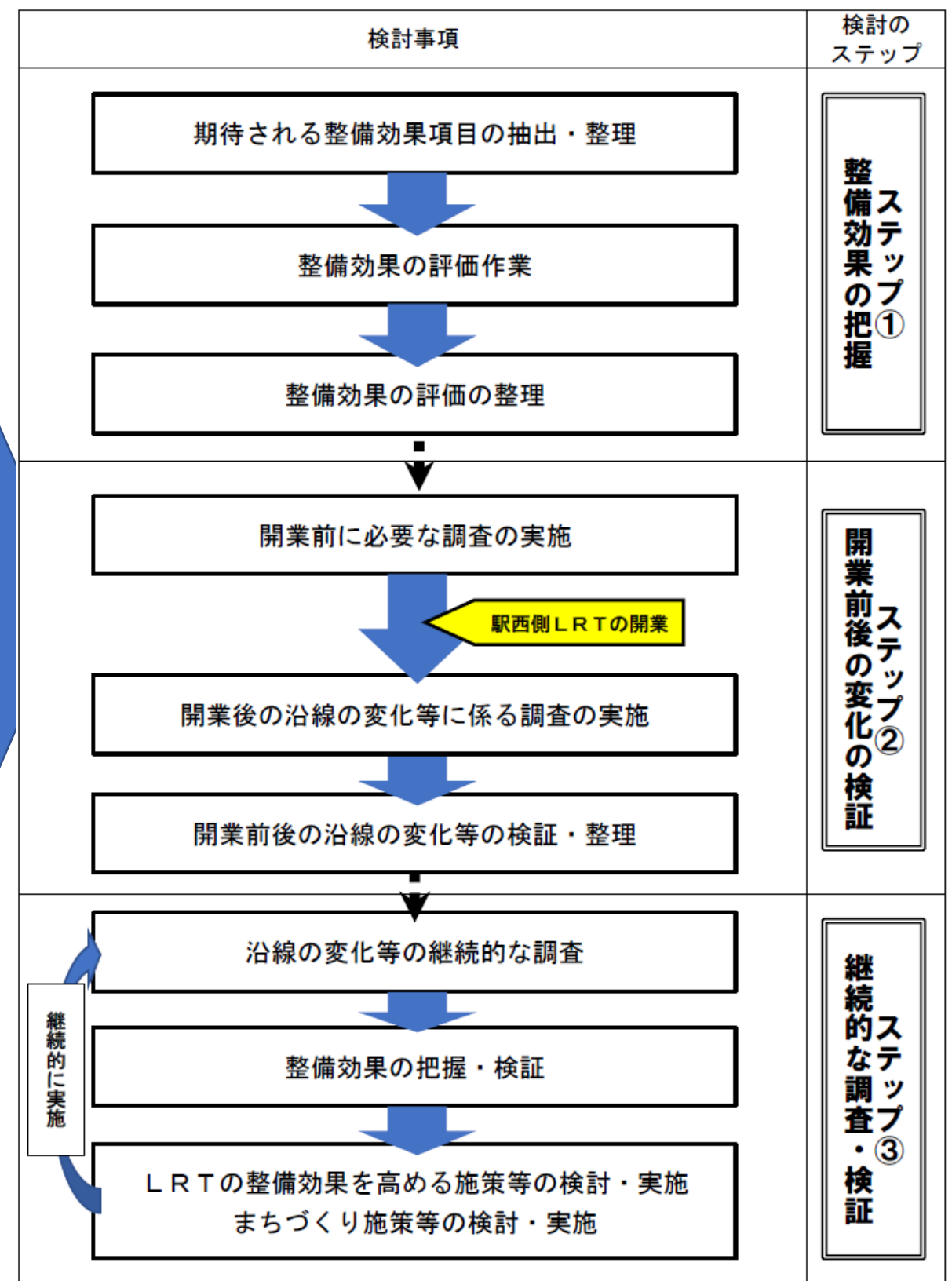
- ・ 効果の検討にあたっては、まず、優先整備区間である「駅東側」におけるまちづくりなどの効果の把握等に取り組む。(一部の効果については算出済)
 - ・ 「駅西側」においても、駅東側における検討の成果等を反映しながら、同様のステップで様々な整備効果の把握等に取り組む。
- ※ 検討状況等に応じ、適宜部会を開催

【① 駅東側の検討】



駅東側における検討の成果等を駅西側の検討に適宜、反映

【② 駅西側の検討】



○ 「第6次宇都宮市総合計画」及び「第6次芳賀町振興計画」の概要

【「第6次宇都宮市総合計画」の概要】

宇都宮市が、首都圏における主要都市の一つとして、広域的な圏域における存在感や中枢性をさらに高めるとともに、市民が夢と希望にあふれ、幸せに暮らせる都市として今後も持続的に発展していけるよう、「まちづくりの基本方向」を定めるもの。

【策定年次】

平成30年3月

【計画に掲げる6つの未来都市（政策分野）】

- ① 「子育て・教育」の未来都市（子育て・教育分野）
- ② 「健康・福祉」の未来都市（健康・福祉・医療分野）
- ③ 「安全・安心」の未来都市（安心・協働・共生分野）
- ④ 「魅力創造・交流」の未来都市（魅力・交流・文化分野）
- ⑤ 「産業・環境」の未来都市（産業・環境分野）
- ⑥ 「交通」の未来都市（都市空間・交通分野）

【まちづくり好循環プロジェクト（人口減少・人口構造の変化に対応するための3つのプロジェクト）】

- | | |
|------------|-----------------------|
| ① 輝く人の和 | 「NCCが支える共生社会創出」プロジェクト |
| ② つながるまちの環 | 「ICTで暮らしもまちも元気」プロジェクト |
| ③ 魅力と夢の輪 | 「ブランド発掘・創造・発信」プロジェクト |

【「第6次芳賀町振興計画」の概要】

芳賀町が、まちづくりの理念を明らかにし、町民主体のまちづくりを目指すため制定した芳賀町まちづくり基本条例に基づき、総合的かつ計画的な町政運営を図るため策定するもの。

【策定年次】

平成28年3月

【計画に掲げる将来像を実現する5つの手段（政策分野）】

- ① 便利をつなげる（都市基盤分野）
- ② 教育をつなげる（教育文化分野）
- ③ 話題をつなげる（産業経済分野）
- ④ 笑顔をつなげる（保健医療福祉分野）
- ⑤ 地域をつなげる（地域コミュニティ、自然環境、安全安心分野）

【リーディングプロジェクト：人口減少対策】

- ・ 新しい人の流れをつくる
- ・ 結婚・出産・子育てがしやすいまちづくりの推進
- ・ 雇用の創出・拡大
- ・ 地域と地域の連携強化

○ 「SDGs」の概要

【「SDGs」の概要】 ※ 宇都宮市HP等を参考

- ・ SDGsは、「Sustainable Development Goals」の略で、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された2030年までの長期的な開発の指針「持続可能な開発のための2030アジェンダ」における「持続可能な開発目標」であり、国際社会共通の目標である。
- ・ 持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成されており、地球上の「誰一人として取り残されない」社会の実現に向けて、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に対する総合的な取組が示されている。

【SDGsの17のゴール】



(参考)

【宇都宮市のSDGsの達成に向けた取組】

宇都宮市のSDGsの達成に向けた取組の提案が、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルの高い都市として、令和元（2019）年7月に「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの達成に向けて総合的かつ効果的な取組の推進を図るため、「宇都宮市SDGs未来都市計画」を策定した。

【芳賀町のSDGsの達成に向けた取組】

芳賀町においては「若い世代に選ばれる 安全安心で住みやすいまち」をコンセプトとする「第2期芳賀町まち・ひと・しごと総合戦略」において、4つの基本目標の横断的目標としてSDGsを位置づけ、持続可能なまちづくりの実現を目指し、各種施策を推進している。

○ 既往の検討事例や先進事例等において示されている効果

【国のマニュアルにおいて示されている効果・影響の例】

評価項目（例）		効果・影響（例）
利用者への効果・影響		<ul style="list-style-type: none"> ・所要時間短縮 ・運賃の低減 ・乗換回数の減少 ・運行本数の増加
供給者への効果・影響		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加
社会全体への効果・影響	住民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の拠点地区へのアクセス性向上 ・高速交通の結節点へのアクセス性向上 ・鉄道空白地域の解消 ・生活利便性の向上
	地域経済	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化 ・企業立地の促進
	地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・定住人口の駅周辺への集約化 ・まちづくりの活性化
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化への負荷の軽減 ・地域の環境改善
	安全	<ul style="list-style-type: none"> ・道路交通事故の減少

※ 「効果・影響（例）」の記載については、マニュアルに示されている項目等を一部加工

【他都市の先進事例において発現が確認されている効果の例】

効果項目	発現事例 (※1)	
	富山ライトレール(※2)	ゆいレール
外出機会の増加	○	
歩く機会の増加	○	
道路交通事故の減少		○
交流人口の増加		○
地域の活性化		○
中心市街地の活性化	○	
地域のイメージアップ		○
観光客数の増加	○	
従業者数の増加	○	
温室効果ガス等の排出量の削減		○
定住人口の増加	○	○
地価の上昇	○	○
高層建築物の建築数の増加	○	○
住宅の新規着工数の増加	○	
移動に要する時間の短縮		○
自動車の道路交通量の減少		○
公共交通全体の利便性の向上		○
移動に要する交通費用の減少		○
多様な交通ニーズへの対応		○
空港・駅等へのアクセス性の強化		○
モビリティの向上（観光客・高齢者等）		○
沿線景観の向上		○
公共交通利用者数の増加（特に高齢者）	○	○

※1 富山市や沖縄県の公表資料等から、実際に発現が確認され、分析・評価等が行われた効果項目を記載（記載の項目以外にも様々な効果の発現が考えられる）

※2 関連性が高いと考えられる、「富山市内電車環状線化事業」、「南北接続事業」による効果も含む